



# A1 倶楽部

**2015.1 新春号**

[発行所]

さとう栄一  
後援会総連合会

〒321-0954  
栃木県宇都宮市元今泉5-1-22  
TEL.028-662-3300  
FAX.028-662-5501

住めば  
愉快だ  
宇都宮

UTSUNOMIYA

## 市長就任11年目を迎えて

### 選ばれるまち宇都宮へ

皆様あけましておめでとうございます。

昨年も皆様には日頃より何かとご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。また、本年は市長就任11年目を迎える、気持ちを新たに市政運営に全力で取り組んで参りますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

近年は、人口減少問題が大きく取り上げられ、宇都宮市でも2017年をピークに人口が減少すると推測されております。この人口減少の時代に宇都宮が生き残るためには都市間競争に勝ち残らなければなりません。そのために『選ばれるまち宇都宮へ』を合言葉に「宇都宮に住み続けたい、移り住んでみたい、企業として進出してみたい」と思ってもらえるような、住みやすく魅力あふれるまちづくりを進めて参ります。これまで、『住めば愉快だ宇都宮』をブランドメッセージに掲げ、そして昨年からは『ダブルプレイス 地元2つ、幸せ2倍』を新たなイメージ戦略に加え、いつまでも快適な生活ができるような宇都宮を目指し、実現して参ります。

本年は、総合的な交通ネットワークの構築の要となるLRTの整備に向けた営業主体の確保や軌道の設計などを進め、2019年度の開業を目指し、JR岡本駅の橋上駅舎の整備など都心からの居住の促進に取り組むとともに、4月から施行される『子ども子育て支援新制度』に向けた保育サービスの拡充や健康寿命の延伸などの重点課題に的確に対応し、地域・企業・ひとなどの活動が好循環し100年先も持続可能なまちをつくるために全力を尽くして参ります。

皆様におかれましては、気持ちも新たに、希望あふれる、幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

宇都宮市長 **佐藤栄一**

『自転車のまち』のPRに佐藤市長一団が台湾へ



**台湾へ『自転車のまち』をPR**

佐藤市長は年明け早々の1月8日から10日まで、国際観光の推進を目指して台湾を訪れました。今回は『自転車のまち日台交流』と題し宇都宮プリッツェンの協賛社である世界的自転車メーカー「メリダ社」を訪ね、支援への謝意と自転車のまちづくりを説明した。会長は宇都宮に高い関心を示し、ジャパンカップへの訪問を検討しています。

宇都宮駅停車実現に向け、佐藤市長が函館へ



**北海道新幹線『はやぶさ』宇都宮駅停車実現のため函館へ**

2016年に開業を予定している北海道新幹線『はやぶさ』の宇都宮駅停車実現のため、佐藤市長のほか熊本議長・北村宇都宮商工会議所会頭ら9人が北海道商工会議所の高向会頭ら役員と面談し、佐藤市長は「北海道新幹線の開通をチャンスと捉え、経済交流、観光交流を拡大したい」と協力を求めました。その後、函館市の工藤市長なども会議を開き、宇都宮駅停車へ向け連携して取り組むことで合意しました。また、今年に入り船田元先生の案内で国会議員の支援も取り付け、これから国土交通省とJR東日本への要望活動に臨みます。

**大谷石の活用を要望**

2020年の東京オリンピックに向けた国立競技場の建て替えに大谷石を活用してもらうため、佐藤市長と大谷石材協同組合幹部は上野通子文部科学大臣政務官の案内で文部科学省を訪れ、下村博文大臣に要望書を手渡しました。大谷石の加工のしやすさや耐火性などの利点をアピールし、佐藤市長は「要望活動の滑り出しは上々だが、気を引き締めて何度でも足を運びたい」と話しました。現在の国立競技場の回廊の壁などにも大谷石が利用されており。

大谷石活用のため、何度も足を運ぶ



高齢者がいつまでも元気な宇都宮を目指して



**高齢者の健康づくり**

宇都宮市が開催する「健康づくり運動教室」は無料で参加ができるため、高齢者を中心に人気を集めています。更には「高齢者等地域支援活動ポイント事業」は、健康づくりに取り組む60歳以上のグループなどに、市のサービスを受けたり、買い物の際に利用できるポイントを与える取り組みです。市民の健康意識を高めようとする背景には、右肩上がりの国民健康保険医療費があり、そのうち5割を占めるのが生活習慣病です。健康な高齢者が増え、高齢者の社会参加が促進されれば、まちが活性化し、医療費の抑制にもつながるでしょう。



週末は畑仕事などを楽しめるまち、宇都宮

## 佐藤市長のトップセールス

# 選ばれるまち



### 今後のスケジュール

内容	2014年度	2015年度	2016年度
【営業主体の確保】 ・求められる要件等を踏まえ、営業主体を確保	●		
【仮称：地域公共交通協議会(法定)の設置・運営】 (市、県、国、交通事業者、公安委員会、事業実施予定者、学識経験者、利用者など)	協議会設置		
「地域公共交通総合連携計画」 (基本的な方針、事業と実施主体、計画期間など)	計画策定		
「軌道運送高度化実施計画」 (区域、事業内容、資金の調達方法、収支など)			
【法的手続・認可】 「軌道事業の特許取得」(地域公共交通再生・活性化法) 「工事施行認可」(軌道法) 「都市計画の決定、事業認可」(都市計画法)	申請	特許取得 申請	工事施行認可 事業認可
【設計・測量・整備】 ・軌道構造物等の設計、路線測量 ・地下埋設物の移設、軌道等の整備	設計・測量		地下埋設物移設、軌道等整備

良好な都市環境の形成に向け、駅東口が生まれ変わる



### まちなかの再開発

近年は大規模集客施設や人口の郊外流出に伴う都市機能の拡散により、市街地商業の衰退が急速に進むとともに未利用地の増加や建物の老朽化など、まちなかの再生が喫緊の課題となっております。宇都宮市では「宇都宮市都心部地区市街地総合再生計画」に基づき、二荒山神社周辺やJR宇都宮駅西口周辺において、再開発事業による高次な都市機能の集積や都心居住の推進に取り組んでいます。近年では、うつのみや表参道スクエアやシテイタワー宇都宮(24階建ての市内最高層ビル)も平成22年に完成し、大手地区では地上29階建ての建物の建設が予定されています。



高層ビルの建設も実現し、都心居住の推進に取り組んでいます

## 公共交通に守られたまちへ



### LRT開業へ向けて

JR宇都宮駅東口から芳賀町内までの区間約15kmで整備するLRTについて、佐藤市長は「2018・2019年ごろには運行を開始できればという希望はある」と述べています。地方創生の施策としても制度を最大限に活用して、目標としている2016年度の着工に向け、今後は軌道の設計や運営事業者の選定などを進め、更にはカード型IC乗車券を導入し、公共交通に守られた便利なまちへ、宇都宮市は間もなく生まれ変わります。

## 未来へのまちづくり

### 駅東口の開発

宇都宮駅東口地区整備事業につきましては、対話型市場調査の結果を踏まえ、実現性のある事業プランを把握することができました。今後は民間企業の活力を最大限に活用し、より実現性の高い提案事業者を選定するなど、更なる確認と調査を行った上で整備方針を作成する予定です。LRTの開業などもあり、この数年間で整備をして、防災や緑化など、良好な都市環境の形成に向け、新たな駅東口に生まれ変わる予定です。

※総面積2.7ha

## 人口減少問題に対応

# 宇都宮へ

### ダブルプレイスを発表

首都圏の一極集中を逆手に取り、首都圏からアクセスの良い宇都宮をもう一つの拠点に置く「ダブルプレイス」地元2つ、幸せ2倍を発表しました。首都圏在住者が週末は宇都宮に来て自転車や畑仕事をを楽しむ生活など、自分にとってより所となる場所を2つもつことで、視野や人とのつながりにも広がりができます。程よく都会であり自然もある「どかないか」宇都宮だからこそ可能な生活スタイルです。



# 選ばれるまち 宇都宮へ

## 全国市長会副会長に就任



全国を飛び回る佐藤市長

佐藤市長が全国市長会副会長に就任しました。今年、副会長として国への要望や会議等で全国を駆け回り、様々な場所ですと宇都宮市のトップセールスをしていただくことで、交流人口や観光客の増加にも期待がもてます。地方が直面する課題解決のため、強いリーダーシップと10年間の実績・経験を発揮されますよう、全国市長会副会長・佐藤市長の活躍に期待しております。

## 北関東中核都市連携会議

佐藤市長の呼び掛けにより、宇都宮市などの北関東3県の県都に高崎市を加えた中核的な4市の市長が手を結び、連携と協調を強化する『北関東中核都市連携会議』の打ち合わせ会合が宇都宮市役所で開かれました。佐藤市長は会合の冒頭で「少子高齢化問題を解決するため、4市が連携して広域的なまちづくりを進める必要がある。北関東道をうまく活用したい」と会議の意義を語りました。

佐藤市長を中心に4市が連携していく



## 宇大でまちづくりを講義



熱弁を振るう佐藤市長

宇都宮大学で開催された、宇都宮市が開講している提議『実践宇都宮のまちづくり』で佐藤市長が約1時間、にわたり熱弁を振りました。佐藤市長は最初に「人口減少と超高齢社会が到来する中で、税収を確保するために『選ばれるまち』になる、そのために子育て環境を整え、市内各地の拠点を公共交通と道路で結ぶネットワーク型コンパクトシティを目指す」と語りました。

## 全国が認めた 宇都宮の躍進

### 人気のまち 北関東 1位

全国人気のまち調査（関東エリア）で、若者に人気の中目黒や横浜を抑え、宇都宮が17位にランクインしました。北関東では最高位で、餃子祭りやクリテリウムなどのイベントも貢献したと考えられます。

### まちなかの歩行者増加

市中心部の休日の歩行者通行量が2011年の前回調査と比べ10.4%増えました。今回も増加の要因は、まちなかでのイベントや中心部の定住人口が増えた結果です。今後も『まちなか』をみんなで盛り上げていきましょう。

## 活動報告

1月31日	さとう栄一後援会総連合会・新春の集い
5月20日	A1 club 総会
6月28日	A1 club ゴルフコンペ
9月20日	さとう栄一後援会総連合会 ゴルフコンペ
11月30日	さとう栄一市長を囲む女性の集い

## 突然の衆議院 解散総選挙

昨年の11月21日、突然の衆議院解散により総選挙となりました。どの陣営も準備不足の短期決戦となりました。宇都宮が大票田である栃木1区では船田元先生が当選されました。今後も先生には宇都宮のパイプ役になっていただき、ご活躍を期待しております。

## 女性の集いに 387名の参加



今回で10回目を迎えた『さとう栄一市長を囲む女性の集い』が昨年の11月15日に開催されました。387名の女性の方々に参加いただきました。佐藤市長の講演にもついつい熱が入り予定時間をかなりオーバーしてしまいましたが、皆様も熱心に聞いてくださいました。本年もお楽しみに！